東京美唄会

第10号

◆発行所◆
〒113 東京都文京区
千駄木3-36-11
センチュリー21
TEL 03-824-0010
◆発行責任者◆
細畑 正治

広い会場も
熱気で埋まる

（写真左上）朗々と歌う大崎明光さん

（写真上）休んだり…

（写真中）飲んだり…

（写真下）食べたり…

第6回総会報告

事務局長　細畑　正治

二月十七日行われました今年度の総会も早いもので第6回目となりました。

例年の会場でありました新橋第一ホテルは丁度改修工事で、急遽、池袋の東方会館に会場を移し、芙蓉・白鳳の二室を借り切りかなり広いスペースで、例年果たせなかった美唄市産品の即売店も会場の中に入ることが出来ました。

参加者も会員総数の約半数に近い盛況で例年を上回る規模となり、主催の幹事一同少なからず感激いたしました。私にとっても、今年は特に常盤小学校の五年生当時のクラスメートと五〇年ぶりに再会できるなど、その感激もひとしおのものがございました。

会員各位、市当局、美唄市商工関係者の方々に深甚の謝意を表するものであります。

当会も事業の中で、次第に定着化し参加人員も増えてまいりました「市長杯争奪ゴルフコンペ」による懇親、或いは、会報を通じて、これをきっかけとしての会員のコミュニケーションづくりも新たな姿を見せ初め、一部の乗り切れない事業を除いては、東京美唄会の姿も次第にハッキリしてきたように思います。

しかし、まだまだ会員の方々の中には何かと会の運営にご満足いただけないむきもおありで、幹事会（役員会）でも、それらと真剣に取り組み、今後の方向を探っております。現在幹事会は、事業分担制で推進しておりますが、皆さん中々お暇のないところを快くご協力して下さっております。会務は遂次、私から会長に報告し、助言を受けながら進めております。

ことに、今年は東京美唄会が発足以来、最大のイベントとして三年前から計画準備して参りました、故郷ビバイの開基一〇〇年の記念式典に参加し、二十一世紀へ向けての激励を兼ねながら、美唄を訪れる『里帰りツアー』も参加者が予定を超える規模となりました。

いよいよ、実現の目途もたちましたので、これに的を絞ってきた私も事務局長として一息ついたところでございます。

しかし、このために担当の幹事の方々には大変な御苦労をおかけしており感謝の念で一杯でございます。記念式典には、七〇余名の参加者が予定されており、羽田会長、事務局長、担当幹事、添乗幹事の出席も予定しており、更に、当日は会長より市に対して、東京美唄会としての記念品の贈呈も準備されております。

さて、総会報告が主題でございますが、会務全般の行事並びに決算報告等につきましては、総会資料に掲載させていただいておりますので、大変勝手ながらこの紙上での詳述は省かせていただきたく存じます。

なお、当日ご出席出来なかった方々につきましては、この会報を通じてその息吹を感じとっていただきたくお願い申し上げ、今後一層、会員の皆様方の御協力をご期待申し上げまして、略儀ながら総会の報告とさせていただきます。

（写真上）今年も好評だった鳥飯

（写真中）珍味々々のスチールヘッド

ついお土産を買い過ぎて（写真下）

役員会、

●今年度第1回

（2

小雨降る中、集し、定刻の19にわたって行わ

第6回総会と事務局長と中田れ、反省事項また、実行委員事が退いて事務旨、報告されま

次いで、開基ランが協議され案を作成しよう意見が百出し、ずに終わりま

●第2回役員会

（4月25

幹事8名に、が加わって18時行われました。

開基百年ツア面掲載）を決め順などを打ち合

また、次回総を畑幹事とし、橋第一ホテル）を仰ぐことに決

里帰りツアー

行程決まる!!
参加者は60余名

先般、美唄市開基一〇〇年記念事業参加の「里帰りツアー」の募集をしたところ、六十三名の申し込みがありました。予想以上の応募に事務局も対応に大童、何とか全員が参加出来るようにと、当初計画の内容や日程を再検討し、また、予算の組み換えなどをしてこの程ようやくその日程が次の通り決定しました。

第一日（九月八日）
上野発（北斗星号）・車中泊

会員の多くの方は上京の時、青函連絡船に乗って来たのではないでしょうか。その懐かしい連絡船も今はなくなりましたが、その替わり津軽の海の底を走る鉄道が生まれました。往路は感慨も新たに「北斗星号」に乗って北海道入りをしていただきます。（場合によっては北斗星一・三・五号に分乗することもあります。）

第二日（九月九日）
美唄市東明閣（ホテル）到着

お昼近くの到着になります。三角山の麓、小高いところにある東明閣は美唄市街を一眺にし、また、東明公園の近くにあり四季を通して市民の憩いの場所となっております。

午後からは市内遊覧を予定しています。皆さんの住んでいた所がどのように変わったか、ウン十年前に想いを馳せて故郷を満喫して下さい。また、夜は美唄市主催の市民交歓会がひらかれます。思いがけない友人に逢えるかも。どうぞお楽しみに。

第三日（九月十日）
美唄市開基一〇〇年記念式典

先人の開拓の偉業と一〇〇年の歴史を讃え、そして二十一世紀に向かっての美唄を考える式典です。きっと厳粛な中にも和やかな雰囲気で挙行されることでしょう。全員でこの歴史的式典に参加します。

終了後解散となります。「里帰りツアー」参加の皆さん、この機会をより有効に生かすよう、今から、個人旅行の計画など十分ご検討の上、楽しい思い出を沢山つくって来て下さい。次号会報に掲載しますので参加記（一言でも可）を募集します。是非ご応募下さい。

復路の航空券は九日夜にお渡ししますので、ご自分の日程に合わせて帰りの搭乗便をご予約下さい。搭乗一カ月前から予約できます。

ツアー参加者

中田　スズ（進　徳）
畑　勝雄（番　町）
田岡　政雄（市　内）
大野　外吉（市　内）
丸山　テル（三　井）
岡崎　寅雄（三　井）
佐藤興一郎（東　明）
日西　昌隆（常盤台）
日西　福枝（常盤台）
村上ひな子（市　内）
田嶋　良子（市　内）
武田千鶴子（市　内）
金刺　光敏（栄　町）
阿部　四郎（落　合）
本城　儀美（磐ノ沢）
沢目　喜一（落　合）
浅田　定子（市　内）
石谷　直孝（市　内）
正田　喬（番　町）
小原　実（月見台）
大橋　初男（常盤台）
大橋　静子（番　町）
江口　行雄（市　内）
江口　いく（市　内）
九島　秀夫（東　明）副団長
九島八枝子（東　明）
吉川　芳江（常盤台）
小森　磯春（鴻ノ台）
小森知恵子（鴻ノ台）
水口秀太郎（三　井）副団長
水口千枝子（三　井）
但野　三郎（落　合）
高橋　義夫（三　井）
高橋　幸子（三　井）
長尾登之助（三　井）
畠山　真一（常盤台）
丸山　孝（二ノ沢）
荒野　隆央（常盤台）
馬場ミヱ子（二ノ沢）
斉藤　芳夫（三　井）
伊藤　信夫（我　路）
葛西エツ子（磐ノ沢）
土居　新一（三　井）
須藤リセ子（落　合）
猪狩トミ子（茶志内）
早川　貞男（鴻ノ台）
福庄　昭子（東美唄）
窪田　武夫（常盤台）
佐々木三男（鴻ノ台）
佐藤　正信（東　明）
佐藤　千代（東　明）
中村　鉄男（鴻ノ台）
佐々木多江子
青木　弘（落
越谷　宗一（日
武藤　隆（鴻
中田　安隆（進
浅野　正毅（学
畑　義克（平
野瀬　和紀（
山口　朋子（常
島原　光雄（
村山　初枝（市
藤井　好枝（市
金子　かよ子

開基一〇〇年記念事業への参加

当東京美唄会の今年度の最大のイベントであります美唄市開基一〇〇年記念事業へ参加するべく行事を計画して参りましたが、会の会費の中から積立て参りました資金は一二〇万円ほどになります。

鋭意努力した結果ではありますが、到底その事業規模の財政には及びませんでしたので、止むなく、羽田会長と御相談の上急遽御協力をお願いすることになりました。その結果、現在までに、三菱鉱業セメント株式会社及び三井鉱山株式会社の両社から多額の御援助を戴くことに御承諾をいただき、広く会員の皆様にその心をお伝えするとともに、紙上をお借りし深く御礼を申し上げる次第でございます。

なお、その他にも御寄付下さいました方々もおりますので、後日改めて御礼申し上げる所存でございます。

そして、九月十日の式典挙行の当日、美唄市民の皆さんに対して東京美唄会として『故郷よ永遠なれ』を祈って、ささやかながら記念品を贈呈する企画を立てておりましたが、市側の意向を打診して参りました結果、本会会員の木元从さんの手になる絵を贈呈することになりました。当会の予算も充分でない中を、木元さんにも快くご承諾いただき、多くの方々の重ね重ねの御協力にこの会報の紙上をお借りし、広く御披露を申し上げ、厚く御礼を申し上げる次第でございます。

多くの人々、企業とその関係者の方々の御厚意を無にすることなく、是非、当会の事業を成功させたく存じますので、会員の皆様の御理解と今後の御協力を御願いする次第でございます。

（実行委員長　細畑正治）

お待ちしています、東京美唄会の皆さん・美唄市

美唄市開基百年を祝う記念式典は、九月十日に開催されますが、「里帰りツアー」でなつかしの故郷・美唄を訪れる皆様を温かく迎えようと、準備を進めています。

○九月九日

午後六時からホテルスエヒロで地元市民との交流歓迎レセプション

遠来の皆様をお迎えして、昔話に花を咲かせ、交わりを深めようと、大勢の市民がお待ちしています。

○九月十日

午前十時から総合体育館で記念式典

明治二十三年沼貝村として誕生以来、数々の試練や大きな変遷を経て今日を迎えた美唄、この過去を振り返り、現在を見つめ、未来を展望する節目の年、開基百年を祝う式典ですが、美唄会の皆様には、是非御出席いただくべく指定席ゾーンを設けています。

○九月十日

午後六時三十分から総合体育館で祝賀のアトラクション

現在第一線で活躍している歌手の牧村美枝子さん、大崎明光さん、北炭生さん、五十嵐浩晃さん、真木由布子さんら郷土美唄出身の方々を迎えて盛大に市民ふれあい歌の夕べが開催されます。（入場は無料です。）

九月十日、この日はあたかも美唄祭の宵宮です。

青春時代の思いでもなつかしい神社通りには沢山の露店が並びます。古いお友達に逢えるかも知れません。お楽しみ下さい。

美唄市に建設内定

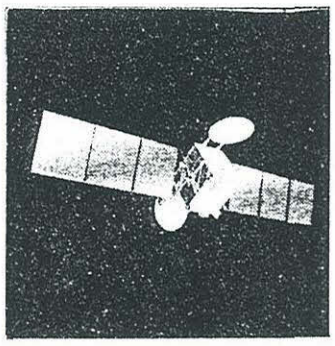
地域衛星通信ネットワーク・サブセンター

衛星通信で、全国の自治体を結ぶ「地域衛星通信ネットワーク事業」のサブセンターが、美唄市に建設されることになりました。運営は（財）自治体衛星通信機構で、全国の都道府県、市町村を地球局として、防災・行政無線の機能拡充や地域からの情報発信はもちろん映像を自治体同志で交換したり一村一品の紹介や、テレビ会議なども行えます。

このシステムの回線管理などを行う本センターは山口市に建設が決まっていますが、美唄市に出来るサブセンターは、山口市のセンターの故障時などのバックアップ施設です。

美唄市ではかねてから「災害時などに備えた「首都圏データ処理バックアップセンター」構想を進めていますが、今回のサブセンター内定は、本構想に大きなインパクトを与えるものであり、更に情報の集積基地として、地域の活性化に大きく貢献することが期待されています。

御力添えをいただいた皆様に心から感謝を申し上げます。



ピパオイの里
プラザ・オープン

地場産業の研究・異業種交流・地域おこし・まちづくりの場として「ピパオイの里プラザ」が完成五月にオープンしました。総工費は1億7千万で、工芸室・染色室・他目的研修室などがあります。

市民のふれあいサロンとして、まちづくりを語り合う場として、活用が大いに期待されています。

うたう心を育てよう

繁下和雄教授の講演

「美しき唄のまち」である美唄は、牧村三枝子さんや大崎明光さんなどの著名な音楽家を生み出していますが、音楽教育の第一人者もいます。

国立音楽大の教授、繁下和雄さん（写真下）がその人で、3月26日、美唄市民会館で講演会が催されました。

繁下さんは三井美唄の出身で美東高の12期生（ちなみにJC美唄大賞を受賞した児童文学作家の後藤竜二さんと同期です）。ピアノなども購入できない環境の中で、ひたすら音楽を愛し、苦学して国立音楽大へ進学しました。

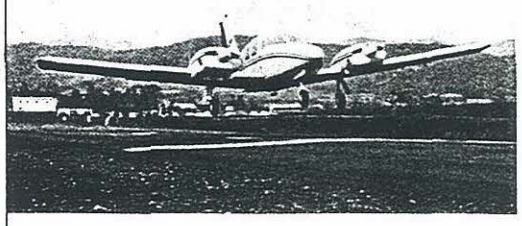
本務の他に、NHKテレビの音楽教育番組の企画や厚生省の文化財関係の審議の活動などで多忙な毎日ですが、郷里からの依頼とあって、スケジュールを調整して美唄を訪れました。

講演会では「子どもの歌は、おとなが与えるものではなく、子ども自身が自分の感性で生み出すものです」と、自らの経験に基づく言葉が語られました。

さらに、愛用のギターの伴奏で「VIVA」名づけたフォ…れ、"ふるさ…て、美唄にプ…た。

美唄にも飛行場が！

テスト機



20世紀も末の今、高速輸送の花形は自動車や船から航空機に移り変わりました。美唄市でも農業の活性化（…産物を空輸す…着陸場」（早…す）の建設を…めています。

6月2日、…に設けられた…飛行が行われた…会の懇親会で…名物、あの新鮮…ンアスパラを…デパート、ス…届けようという…

テストは見事…店頭で即売さ…その日のうちに…いました。美唄…全国的に知られ…だされたように…

榎本一夫先生の在りし日を偲んで

美唄市助役　吉岡　稔

先生の快諾を得て、私が初めてイラン化学開発を訪ねたのが、昭和58年10月13日でした。

市の東京事務所が設置された時で、企業誘致活動に乗り出したばかりの時でした。

先生と美唄とは、先生の父君徹之助氏が昔榎本農場を経営していた縁があり、東大生の頃何度か来美されたとのこと、卒業後東京銀行、三井物産を経て今の会社へ、社長付参与の名刺を頂いたことを覚えています。

最初に会った私の印象は、古武士を思わせる親父のような人、美唄に大変好意を持った人、そして年を感じさせない柔軟な発想をする人でした。

空知中核工業団地の概要を説明させて頂いた途端、開口一番地域の特性を生かした中程度の工場立地が先決だと考える。泥炭工業の開発、農産物の流通拠点や農業機械の組立修理工場等を目指すべきと二時間余に亘って美唄への想いを一気に語られた。あのときの先生の気迫は、今も忘れることが出来ません。

これを機に、滝市長から先生にお願いし、美唄市の顧問格として色々アドバイスを頂くことになりました。

先生は、大変な国際通と拝察しておりました。予約をすると何時も快く会ってくれましたが、オフィスは英字の新聞や雑誌が所狭しと山積みされ、多忙のようでした。そして、外国旅行で得た体験や三井物産におられた人脈から、アイルランドやトルコ共和国の中都市との姉妹提携を進めるべきと、何度も提言を頂きました。また、フィンランド大使館から若い報道文化担当官を伴って来美されたのも、何とか国際化の芽を出させたい先生の一念であったと思っています。

東京美唄会でも、創立時から顧問として、多方面に亘りご尽力を頂いてきました。

先生は、熱烈な愛郷心を持たれた人、また、生涯学究を志した人でした。美唄で講演して頂きましたが、世界の軍事やエネルギー事情には特に造詣が深かったと思います。

多面、先生は、二高美術展やサッカーOBの球魂会に、絵画を出展して楽しんでおられました。

また、敬虔なクリスチャンでもあり、人間味あふれる温容を身につけておられました。昨年の正月、「私退院目下静養中です。御連絡あらば友情出演します。」と、したためた賀状をいただきました。全く頭の下がる思いで一杯でした。

先生とお会いし、色々お話を伺いたいと思っておりました矢先の、同年7月19日、巨星落つるが如くこの世を去られました。

美唄市は、今年開基一〇〇年、これを記念して美唄会がツアーで来市する計画もありますし、企業誘致、国際交流や、まちおこしなど正にこれからというときだけに、誠に残念至極でなりません。

このうえは、先生のご遺徳を偲びつつご冥福をお祈りし、個性豊かなまちづくりを進めなければと心を新たにしているところです。

榎本先生、どうか美唄の将来を見守り下さい。

私の美唄 ①

畑　勝雄

生まれ故郷の秋田より美唄市三菱美唄鉱業所旭台に移り住んだのは大正十四年三月、十四歳の年で高等小学校を卒業し、実業補習学校に入り、翌大正十五年三月卒業し、十五歳で当時の労務係（後に勤労課となる）に就職し、労務係主任（後に勤労課長）藤岡萬五郎さんの下で賃金計算統計、庶務、福祉等各係を経て兵役除隊後外勤係、寮長、保険係等を努めた。

私の入社直後に大槻文平さん（元三菱鉱業社長、東京美唄会名誉会長）が入社、勤務課に赴任され大変お世話になり、種々御指導を賜りました。

青年団の夏季旅行では羊蹄山を走破したこと等想い出に残るものがあります。

その間最も嬉しい想い出に残ることは毎年春秋二回行われた部落対抗野球大会で旭台の選手として五年連続十回の優勝や青年時代の剣道を当時の労務主任江頭佳造さんのご指導を得て三菱美唄が全道実業団で団体優勝し、北海道代表として中央大会に出場出来たことです。

それに毎年行われた三菱美唄陸上競技記録大会の走り高飛びで三年連続記録更新して金、銀、銅（現在も保管している）のメダルを獲得したことなどがあり、美唄市体育大会では毎年優勝出来たこと等想い出深いものがある。

晩年には美唄市軟式野球連盟副会長、美唄市福祉教育委員、法務省保護司、美唄市体育協会副会長の要職に推され体育功労者として功労賞を受賞したことなどはとても嬉しいことであった。

反面、悲しい想い出は竪坑、通洞の大爆発の事故や、昭和二十九年の函館七重浜での台風によるあの洞爺丸の悲惨な海難事故で中央大会に出場途中の三菱美唄男子バレー選手団監督付添等二十数名が命を失った悲惨な事故などあり遺体が全員収容されるまで近角真観副長と共に一ヵ月間函館でご遺族の方々の世話をしたことなどがあります。

その他旭台の大火、我路市街の大火などあり夫々救援活動に奮闘したことなどが今走馬燈のように脳裏に浮かんできます。

以上数々の想い出の中から主なるものを断片的にまとめてみました。

美味しいものを探してやって来ました、ここは相模原市東林間。小田急線は相模大野から江の島線で一ツ目。東林間駅前商店街の中華料理「林和」という店。もちろん経営は美唄出身（我路ノ沢）、童顔のマスター久保市勉さん（四十八歳）。

東高（10期生）から東洋大学を経て"サラダ屋"さんに就職したのがこの業界に入ったきっかけ。三年後一念発起して脱サラを目指し、東京赤坂飯店で中華料理の修業を積み、免許皆伝？と同時に渋谷で中華料理店を開店。以後神奈川県大和市に移って昭和五十三年から小田急線南林間駅前で中華料理「天昌苑」を開店。伺ったところこの「天昌苑」がいわば本店。記者が訪ねた「林和」はほんの出店。とはいえマスターが孤軍奮闘しているのだから味の悪かろう筈はない。営業の邪魔にならないようにと午後三時という中途半端な時間に訪問したのに、次々とお客さんが入りこちらの話も中断に次ぐ中断。

「美唄の想い出？そうねえーやっぱり炭山線かな？あの汽車って忘れられないよね。冬には番町の裏山でスキーをしたり、月見台の神社の坂道をすべったりしたものです。夏はお祭や盆踊りが賑やかだったね。手拍子の都度体中につけた赤や緑の豆電球がパッパッと光って…まだ炭鉱に活気があった時代でしたから。小学生の頃、常盤台会館へ美空ひばりの実演を観に行ったものです。」

「美唄には閉山から二年後程経って行って来ましたが、それ以後は行く機会がありませんでした。種々と話には聞いておりますが、どのように変わったか想像も出来ません。」

さて、久保市さんの経営している店は、「天昌苑」と「林和」のみにあらず…高田馬場には秋田料理の店「松葉」も経営、都内の方は是非ご利用の程。（早稲田通りと明治通りの交差点近く）

久保市さんの得意料理はもちろん中華料理。その中でもチリソースの味は日本一。それと宴会料理が十八番。皆さん一度行ってみませんか？　（中田記）

新入会員

美唄に関係のある方をご存知の会員は事務局にご連絡下さい

大川　孝子
足立区江北一－四－一三
佐々木　裕（市内）
横浜市港南区下永谷町
二三〇八－七－五〇六
西林　和馬（市内）
大田区雪谷大塚二二－八
モリビヤ寮
高橋日佐男（常盤台）
清瀬市中清戸
四－八四七－一二七－二
大辻　廣（我路）
神奈川県中郡二宮町富士見が丘
二－二－一二
大辻　肇（我路）
小田原市中町三－二－二五
外崎千代子（常盤台）
埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸
二八二八－一六
田中　省三（番町）
綾瀬市寺尾釜田二－一五－六
青木　弘（常盤台）
板橋区前野町四－六二－一四
サンパークアオキ五〇一
小野　政明（三井）
東村山市萩山町一－二五－一
九島八重子（東明）
柏市高田一〇一三－三六
佐々木重昭
秦野市堀西三三－三
平塚　静男（西美唄）
浦和市常盤
一〇－七－一〇－二－二〇六
大崎智恵子（常盤台）
昭島市福島町三－一四－一六
佐藤トキ子（常盤台）
渋谷区松涛町一－一八－一九
千代田火災松涛クラブ
高谷　幸（東美唄）
府中市新町一－一九－五
府中第二住宅一－四〇一
浅田　則芳
横浜市戸塚区戸塚町一二七四
－九BSAP－三－四〇四
赤石　文博
練馬区光が丘
三－三－七－五〇四
秋場　良宣（西美唄）
江東区北砂
五－二〇－七－四〇二
相沢　昭子
熱海市林ケ丘七－一
今井　浩子
鎌倉市山崎二二七七JR一五六
上里　勝
佐倉市臼井一二三六－三二

大角　満
横浜市港南区日野七－七－一三
門脇　弘（進徳）
新宿区新宿一－二－一－七〇二
片平須奈雄
江東区南砂七－二－六－七〇五
河端　博（東明）
牛久市刈谷町五－二五
角島　靖夫
上福岡市川崎一－一－九
兜森　達也
鴻巣市赤見台三－二〇－一〇
上山　栄（三井）
埼玉県入間郡日高町高萩
一七一〇－九
上山千代子（三井）
同右
岸本久美子
東金市岩崎一六－一五
工藤　又麒
江戸川区宇喜田町一五一六－四
工藤　幸子
同右
久保市　勉（我路）
相模原市東林間八－一四－二三
久保　喜明（三井）
世田谷区等々力七－一四－一八
今野　一子（茶志内）
荒川区東日暮里六－四四－三
佐藤　功
柏市中新宿三－一〇－二
佐藤　哲也
千葉市幸町一－九－一－五〇五
渋谷　キク
千葉市長沼原町九四二－一三八
島原　光雄
川口市大字安行領根岸九〇五
高橋　信雄
浦和市神田六四九－一
竹内　節子
世田谷区三宿一－二〇－四
谷藤　美枝
北区桐ケ丘一－二一
W一九－三〇二

滝沢　利行
青梅市師岡町
滝沢　紀子
同右
寺岡キクエ
日立市西成沢
中村　誠一
札幌市東区東
中村　和彦
八千代市八千
林　秀明
小金井市前原
早川　幸吉
八王子市大塚
福光　修一
札幌市豊平区シ
堀　久子
富士見市上沢
三品　善明
茅ヶ崎市鶴が
三品　静枝
同右
村上ひな子
水戸市千波町
六車喜美子
足立区千住竜
森　綾子
文京区向山一
渡部　良知
浦和市北浦和
渡部　勝
所沢市北野一
渡部テルオ
同右
赤坂　円蔵
与野市鈴谷八
阿部　太郎
上尾市弁財二
繁下　和雄
目黒区緑が丘
板山　修
市川市二俣六
防衛庁
斉藤　清一
我孫子市高野
武田千鶴子
水戸市元吉田
谷坂　正道
柏市西柏台二

新任のごあいさつ

美唄市東京事務所長　村上　忠雄

今年四月一日から東京事務所長を拝命いたしました。またそれまで次長として東京美唄会の皆様には大変お世話になり、心からお礼申し上げます。

仕事の内容は以前とほとんど変わりませんが、やはり「長」という名には言われぬ重さを感じているところでございます。

東京事務所の責務は、地元と中央の情報パイプの他に会員数七百名に及ぶ美唄会の皆様との心のパイプとしてもその役割を果たさなくてはならないと思っております。昨今の美唄は企業誘致にも少しはずみがつき、今年の開基百年と相俟って、閉山以来多くはなかった明るさも戻って参りました。

今年は融雪も早く、五月の連休には桜名所の東明公園も大いに賑わい、二世紀に向けての美唄の息吹すら感じられました。

先輩諸賢の前には未熟な私共でございますが、他の新任職員共々刻苦精励して参りたいと存じますので、どうぞ相変わらずご指導下さいますようお願い申し上げます。

梅雨入りも本番を迎えておりますが、会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、私こと、去る四月に美唄市への派遣期間を終えて道庁に戻りました。同時に兼務となっていました美唄市東京事務所長も退任となりましたが、二度にわたっての美唄会総会をはじめ、短い期間ながらも、多数の会員の皆様と親しく交流させていただきました。ここに厚くお礼を申し上げます。

皆様の心の故郷・美唄市は、本年、意義ある百年を迎え、北海道中央に位置する中核都市として、益々の発展が期待されており、私も美唄市に住み勤めた者の一人として、もとより微力ではございますが、美しき唄のまちづくりのお役に立ちたいと考えております。

東京美唄会のご発展と、皆様の一層のご健康を心からご祈念申し上げます。

退任にあたって

前美唄市東京事務所長　松尾　昭房

来年度の総会は…
3月2日（土）午後3時
池袋・東方会館

ごあいさつ

美唄市東京事務所次長　堀川　泰雄

本年四月一日付で東京事務所勤務を命ぜられました。と言いましても本庁での企業立地業務との兼務となっていますので、月のうち半分位の東京勤務となります。

前職は、国体事務局で、美唄市が卓球競技会の会場地だったことから、その成功に向けて、多くの皆さんのご協力を得ながらの三年間で、「らくご卓球クラブ」の林家こん平師匠を美唄に迎えての交歓卓球試合をはじめ、ユニークな取り組みも数多く、なつかしい想い出となりました。

一転しての東京事務所勤務ですが、日本卓球協会の皆さん、専修大学の皆さんをはじめ、国体でお世話になった方々を訪ねての、いわば「ピンポン外交」で東京でのおつき合いの巾を広げさせていただいております。

今年は、美唄市の開基百年と言うことで、東京美唄会「里がえりツアー」が計画されていますが、どうか楽しい旅となりますようにお祈りしています。

街を彩る木々の緑も一層その深さを増して参りましたが、会員の皆様のご健康を心からご祈念申し上げ、ごあいさつといたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記

▼開基百年の祝いに花を添えるかのように、地域衛星通信網サブセンターの建設が美唄市に内定した。市長をはじめとして地元の方々の笑顔が想像できる。とくに、誘致運動の先兵だった東京事務所の関係者―吉岡・奈良・遠藤・松尾・村上・五十嵐・堀川・板東・有馬・日西ら、諸氏の喜びは大きいだろう。われわれ東京美唄会の会員にとっても我が事として嬉しい。

▼我が事といえば、まったくの私事だが、新所長の村上氏は筆者の竹馬の友。田園町の周辺を遊び回った仲だったが、千駄木で三十数年ぶりに再会した。地名をもじって言えば、村上氏は当時から「田園チョウ布の貴公子」の品位とスマートさを備えていた。東京事務所の責任者に昇格した今、これまた細心さと活力を兼備する堀川氏という補佐役を得て、いっそうの活躍が期待される。

▼そして、北海道庁へ復帰した松尾氏と本庁財政係長に転じた板東氏の退陣も惜しい。若々しい二人の文化への感性は鋭く、企業誘致という大きな任務に精励するかたわら、一見、お金にならないかのようにみえる文化関係の人脈作りに営々と努めていた。その成果はやがて必ず実を結ぶだろう。

▼さて、東京美唄会も郷土美唄のように新しい発展を目指し、いっそうの活性化が望まれる。今日までバイタリティーあふれる事務局長を軸とする幹事の面々の主導で会が運営されてきたが、今後は多士多才な会員の智恵と行動力をさらに、集めなければならないだろう。

▼今まで以上に、会員諸氏の積極的な参加を期待したい。たとえばこの会報にしても、会員の各方面での活躍を掲載したい。どうか、様々な原稿（内容は問わない）を寄稿していただきたいと切望するしだいである。

（加藤）

◆　平成元年度事業報告　◆

1．第5回総会の開催
　平成元年3月3日新橋第一ホテル弥生・天平の間（会員 210名、賛助会員7社、来賓・地元ほか60名出席）
2．会報の発行（9号・号外）
3．第3回美唄市長杯争奪ゴルフコンペ開催
　平成元年5月18日　平塚富士見カントリークラブ
4．平成2年美唄市開基 100年記念事業参加準備
5．会員　普通会員 748名　賛助会員 15社

◆　平成元年度決算報告及び2年度予算（案）　◆

収　入

（単位：円）

項　目	内　訳	元年度予算	元年度決算	2年度予算
前年度繰越		457,489	457,489	763,481
総会費	会費 1,260,000 祝儀 300,000	1,560,000	1,693,000	1,560,000
年会費	普通 600,000 賛助 300,000	900,000	1,016,000	1,000,000
補助金	美唄市	300,000	300,000	300,000
雑収入	名簿売上，利息，その他	50,000	66,469	20,000
合　計		3,267,489	3,532,958	3,643,481

支　出

（単位：円）

項　目	内　訳	元年度予算	元年度決算	2年度予算
総会費		1,560,000	1,693,000	1,560,000
事業費	会報発行費 行事費	300,000 210,000	164,224 59,956	300,000 310,000
総務費	会議費 通信費 事務費	190,000 160,000 110,000	50,560 164,858 236,879	70,000 160,000 200,000
開基100年積立金		400,000	400,000	400,000
予備費		337,489		643,481
合　計		3,267,489	2,769,477	3,643,481

差引残額 763,481円

厳正な監査の結果、上記のとおり相違ないことを認める。

平成2年1月27日　監事　菊地元一 ㊞
〃　水田　努 ㊞

◆　平成2年度　事業計画（案）　◆

1．第6回総会開催（2年2月17日）
2．会報の発行（第10号・第11号）
3．第4回ゴルフコンペ開催
4．女性会員の集い開催
5．企業振興研究会開催
6．美唄開基 100年記念事業参加